

AER

DISC ENERGIZER ¥49,350

分子の方向性を整える環境を形成
エッジが鋭く、透き通るような響きを生む

井上千岳 Chitake Inoue

注目のポイント

ディスク以外にアナログカートリッジやスピーカーにも有効だという。どのように使えばいいのかまだ不明だが、興味深い製品だ。

SPEC

- 処理時間：約5秒間
- 効果の持続時間：約80分程度
- 単四電池駆動
- 取り扱い：TRN

光を照射することによってCDの音質を改善するというユニークなアイテムである。超音波エコーなど医療分野での映像処理や解像度向上などで、20年にわたって成果を挙げってきたユーフォリア・テクノロジー社の技術を、真空管アンプのメロディーブランドを製造するAER社がオーディオに応用したものだという。

光をCDなどのディスク表面に当てることで、光子によって分子の方向性を整える環境が形成され、この処理が行われた表面がレーザーの照射を受けると信号の伝送回路が活性化され、信号電流が導線内に効率的に流れるようになる——これをマイクロフェーズ・アラインメント・フィールドというそうだ。これがク

ライオのように分子の配列を安定させるものなのか、あるいは別の作用が働くのか、詳しい説明を聞いてみないと分からない部分もあるが、実際の処理は数秒間自動的に光が当たるだけの簡単な処理である。格別強力な光線が当たるわけではない。

しかし実際に処理を行ってみると、音のエッジが鋭くなり、ディテールがきめ細かく浮き上がってくる印象がある。余韻などの響きも粒子が微細化された感触で、透明度が増して透き通るような響きが得られる。

なお、効果の持続時間は約80分という。したがって再生のつど処理を行う必要がある。

